

## 公立陶生病院に通院されている患者さんへ

当院は、「潜在結核感染治療実態に関する研究」に参加しております。本研究は、結核療法研究協議会が中心となって、潜在結核感染症治療の副作用、有効性を検討し、今後の日本の潜在結核感染症治療のあり方を検討する多施設共同研究です。

日本における潜在結核感染症治療は、6ヶ月または9ヶ月間のイソニアジド(抗結核薬)の内服、もしくは4ヶ月または6ヶ月間のリファンピシン(抗結核薬)の投与とされていますが、現在他の治療が行なわれているのかどうかは分かっておりません。潜在性結核感染症治療の実態を調べ、治療の副作用、有効性を検討することで、今後の日本の潜在性結核感染症治療のあり方を検討することを目的としています。

2014年と2015年に、公立陶生病院において潜在結核感染症の治療を受けられた方を対象に、既存の診療記録から下記の診療情報を収集し、症例報告書を作成、結核研究所へ送付します。結核療法研究協議会内科会で収集した臨床情報を集計・解析します。

本研究で収集するデータ情報:性、治療開始時年齢(5歳毎)、潜在性結核感染治療対象となられた結核発症リスク因子、潜在性結核感染を確認した検査方法・検査結果、胸部単純X線所見、CT所見、治療内容、有害事象等

この研究では、集計・解析に際して匿名化をして情報を取り扱い、対象者の個人情報を厳重に保護しています。

研究期間は倫理委員会承認後より2018年12月31日までを予定しています。

### 研究組織

(公財)結核予防会 結核研究所 吉山 崇 企画主幹(研究代表者)

結核研究所からのお知らせ「潜在結核感染症治療実態に関する研究について」は以下のURLからご覧になれます。

[http://www.jata.or.jp/tp\\_detail.php?id=87](http://www.jata.or.jp/tp_detail.php?id=87)

上記に該当する方で、この研究についてのご質問や研究協力の拒否を希望される方がございましたら、お手数ですが公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科医師・松田俊明(電話 0561-82-5101)までご連絡いただければ幸いです。

研究責任者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 近藤 康博  
研究実施者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 松田 俊明  
研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 木村 智樹  
研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡 健介  
研究協力者：公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科 横山 俊樹  
研究協力者：公立陶生病院 感染症内科 武藤 義和